紅葉山公園	0.22	0.20
二本松市東和支所	0.73	0.69
二本松市田沢集会所	0.39	0.42
小国ふれあいセンター	0.30	0.31
下小国中央集会所	0.82	0.84
伊達市霊山PA	0.61	0.63
月舘相馬公民館	0.96	1.04
国見町役場	1.20	1.21
白沢総合支所	0.42	0.44
旧白沢総合支所	0.47	0.52
北署桑折分庁舎	0.48	0.51
国見町役場	0.25	0.26
川俣町役場	0.44	0.47
山木屋駐在所	0.59	0.60
大玉村役場	0.28	0.29
◇県中		
郡山市役所	0.40	0.45
県農業総合センター	0.53	0.59
ビッグパレットふくしま	0.36	0.37
郡山市・田母神小	0.17	0.17
逢瀬行政センター	0.27	0.32
須賀川市長沼支所	0.62	0.55
須賀川市岩瀬支所	0.59	0.61
三春町役場	0.18	0.19
小野町役場	0.09	0.09
鏡石町役場	0.15	0.15
天栄村役場	0.41	0.41
石川町役場	0.11	0.10
玉川村役場	0.13	0.12
浅川町役場	0.14	0.12
平田村役場	0.13	0.13
古殿町役場	0.14	0.14
◇県南		
白河市表郷庁舎	0.19	0.18
白河市大信庁舎	0.38	0.38
白河市東庁舎	0.19	0.19
塙町役場	0.16	0.17
矢祭町役場	0.10	0.10
鮫川村役場	0.13	0.13
◇会津		
喜多方市役所	0.12	—
北塩原村役場	0.13	—
西会津町・野沢小	0.03	—
磐梯町役場	0.14	—
猪苗代町役場	0.11	—
会津坂下町役場	0.12	—
湯川村公民館	0.12	—
柳津町役場	0.11	—
三島町役場	0.09	—
金山町役場	0.08	—
昭和村役場	0.07	—
会津美里町高田支所	0.10	—
◇南会津		
南郷総合支所	0.12	0.11
伊南総合支所	0.12	0.13
舘岩総合支所	0.11	0.11
只見町役場	0.07	0.07
只見町役場	0.08	0.08
檜枝岐村役場	0.08	0.09
◇相双		
相馬市役所	0.14	0.14
相馬市玉野出張所	0.50	0.47
相馬市山上公民館	0.19	0.22
相馬港2号埠頭	0.12	0.11
南相馬市鹿島区役所	0.26	0.25
南相馬市橲原公民館	1.06	1.03
新地町役場	0.14	0.15
◇いわき市		
三和支所	0.15	—
小川支所	0.13	—
勿来支所	0.09	0.09
田人支所	0.22	0.23
小名浜支所	0.12	0.11
小名浜藤原埠頭	0.09	0.10
四倉支所	0.17	0.19
JR久ノ浜駅	0.27	0.26
末続集会所	0.31	0.33
中央台南小	0.15	—
いわき市川前支所	3.21	3.18
	0.11	0.11
◇文部科学省測定		
あづま総合運動公園	0.16	0.16
石神生涯学習センター	0.49	0.52
須賀川市役所	0.12	0.12
白河総合運動公園	0.25	0.25
会津若松市役所	0.13	0.11
ひわのかけ運動公園	0.05	0.05
スポーツアリーナそうま	0.28	0.30
広野町役場	0.19	0.18
川内村役場	0.12	0.12
葛尾村柏原地区	2.57	2.64
田村市常葉行政局	0.11	0.12
いわきの里鬼ケ城オートキャンプ場	0.21	0.20
いわき市海竜の里センター	0.25	0.26
養護老人ホーム「東風荘」	4.13	4.18
石熊公民館	—	9.72
県浪江ひまわり荘	2.71	2.82

20キロ圏内の測定結果
（5日・単位は毎時/時）

地点	10:00	15:00
広野町二ツ沼	0.48	0.47
楢葉町山田岡	0.34	0.33
〃 繁岡	1.15	1.18
〃 松館	1.14	1.15
富岡町上郡山	1.77	1.78
〃 下郡山	1.79	1.81
旧宮岡町役場	3.78	3.79
リフレ富岡	4.71	4.74
原子力センター	5.18	5.24
双葉町山田	21.69	21.58
双葉体育館	5.66	5.74
郡山公民館	1.29	1.31
浪江中央公園	0.96	0.97
〃 幾世橋小	0.43	0.43

の商業機能向上へ
調ネット発注整備
帰村に向け県

帰村宣言し機能の向上が郡山市など中通り地方の卸売業者らにネットで商品を共同注文する仕組み。購入した商品は県が今後、村内に整備する物流センターに配達され、商店主が村外に仕入れに行く負担を軽減する。同村の高齢者らには村内店舗にネット注文できる端末を配布するなど買い物環境の利便性向上を図る方針。

帰村宣言し機能の向上を共同注文する仕組み。購入した商品は県が今後、村内に整備する物流センターに配達され、商店主が村外に仕入れに行く負担を軽減する。同村の高齢者らには村内店舗にネット注文できる端末を配布するなど買い物環境の利便性向上を図る方針。

未来テーマにシンポ
県が「3・11復興の誓い」概要

県は5日、災害対策本部会議を開き、東日本大震災から1年の11日に開く「3・11ふくしま復興の誓い2012」の概要を発表した。追悼式をはじめ、「未来」をテーマにしたシンポジウムを開催、復興に向けた決意を新たにする。

追悼式は、震災発生時刻に黙とうをささげるほか、佐藤雄平知事による式辞、献花などを行う。シンポジウムでは、佐藤知事、三春町の福聚寺住職で芥川賞作家の玄侑宗久さんが「未来につなげる、うつくしま～誇りあるふるさと再生の実現に向けて」をテーマに意見を交わす。復興の誓いの後は、県内7地方でキャンドルナイトを実施する。

線量 一つの地図に
産総研がシステムを開発

自治体などがばらばらに公開している空間放射線量のデータを、インターネット上の一つの地図に表示するシステムを産業技術総合研究所（茨城県つくば市）が開発し、5日公開した。現在は東北と関東の約3千地点のデータを公開しているが、将来的には10万地点以上に増やしたいとしている。

同研究所の橋田浩一研究ラボ長は「今後は個人が計測したデータも登録できるようにしたいが、信頼性をどう保証するかが課題だ」と話した。

同研究所によると、自治体や研究機関などがネット上で公開しているデータはファイルの形式が統一されておらず、データを統合するには専門家による作業が必要。だがファイルのアドレスや「PDF」といった形式などをネット上の画面に入力するだけで、一般人でも簡単に登録できるようにした。

自治体などがデータを更新した際、ファイル名が変わらなければ、システムに自動的に反映される。システムのアドレスはhttp://jure/manual/radiation/-content.carc.jp/usto

放射線量が色別に表示された地図（産業技術総合研究所提供）

水田除染
薬剤散布や深耕実施
伊達、桑折、国見の3市町 作業は地元JA委託

2012年産米の作付けに向け、伊達、桑折、国見各市町が行う水田の具体的な除染対策が5日、固まった。JA伊達みらい（同市）に作業を委託、同JAが1市2町で実施中の果樹の除染で培ったノウハウを生かし、農家と連携し水田への放射性物質吸収抑制剤の散布や土壌を普段より深く耕す「深耕」などを行う。

今月下旬にも始める。例年より20日前後遅れるが、前年同様5月20日ごろには田植えできる予定。5日、同市で農業団体代表の緊急会議が開かれ、示された。管理の徹底で作付けが認められる、1キロ当たり100ベクレル以下の放射性セシウムが検出された地域を優先する。管内の全水田2300ヘクタールでの実施が目標で、続いて100ベクレル以下でも行い、伊達市の方針次第では500ベクレル超でも行う。

作業では、同JAと地元農家が雇用契約を結ぶ。農家数人で班を構成、ケイ酸カリウムやゼオライトの散布、作業車での深耕を展開する。

同JAによると、1市2町とも、作付け制限地域での作付けに必要となる管理計画に盛り込む予定。

同市は、国の説明会を経て地元農家の意向を調査、昨年作付けした農家を含め、今年の作付けを行わない意向を確認したため、見送り方針を固めた。作付けを見送るのは38戸約60ヘクタール。

玉野地区 作付け見送り
相馬

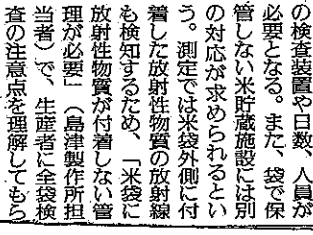
相馬市は5日、食品の新基準値（1キロ当たり100ベクレル）を超え、100ベクレル超500ベクレル以下の放射性セシウムが2011年産米から検出された同市玉野地区での12年の作付けを見送る方針を確認した。

農林水産省は100ベクレル超500ベクレル以下の地域は作付け制限を基本とするが、全袋検査の実施条件を満たした場合は作付けを一部容認する指針を示している。

コメの高速検査装置
新基準値にも対応
島津製作所試作

島津製作所（京都市）は5日、二本松市で記者会見し、コメを30キロ袋に入れたまま放射性物質を高速・高精度で判定するベルトコンベヤー式検査装置「FOODSEYE（フースアイ）」の試作機を発表。1袋当たり5秒で測定下限値20ベクレル以下の測定ができ、放射性セシウムの一般食品の新基準値（1キロ当たり100ベクレル）に対応する。

一部市町村の本年産米の作付け条件で課題でもある全袋検査に導入されれば、大量のコメをスムーズに検査できる態勢を構築できる可能性がある。


米袋ごと高速、高精度で放射性物質を検査できる装置。

食品の放射性物質 郡山市が分析開始

郡山市は5日から、市民の食品等に対する安全・安心を確保するため、市内の各地域公民館や行政センターなど42の公共施設に放射能簡易分析機44台と分析作業員92人を順次配置。市民が持ち込む食品などに含まれる放射性物質の濃度分析を無料で開始した。

5日から検査を開始したのは市内全14行政センターと各地域公民館（清水台、赤木、行徳、高瀬、二瀬を除く）、ニコニコこども館の35施設。9日までに42の公共施設に分析機と作業員を配置する。ニコニコこども館には簡易分析機3台、そのほか1台ずつ配置した。検査は会場ごと来場による事前予約制。測定件数は簡易分析機1台につき、1日13検体を予定している。

原乳5点 検出なし

県は5日、出荷制限解除後も実施している原乳の放射性物質検査結果を発表、県北、県中、県南各地域で採取した5点いずれからも放射性ヨウ素、セシウムともに検出されなかった。

県の健康調査 報告へ
放影研の諮問委が開始

広島と長崎の被爆者の健康を日米共同で調査する「放射線影響研究所（放影研、広島市・長崎市）の研究内容を審議する科学諮問委員会が5日、広島市南区の広島研究所で始まった。

今年は福島医大の山下俊一副学長を新たに諮問委員に加え、日米の専門家13人で7日までの3日間、審議する。東京電力の福島第1原発事故を受け、放影研が協力している県の住民健康調査などの報告も盛り込まれる見込み。

実証試験では、検査時間5秒で測定下限値は1キロ当たり20ベクレル以下、15秒で10ベクレル以下、120秒で5ベクレル以下の結果が得られ、乳幼児用の新基準値（1キロ当たり50ベクレル）にも対応する。高精度のゲルマニウム半導体検出器での測定値とほぼ同じ数値で、基準値100ベクレルでは1分間に3～4袋、1日8時間作業で約2千袋の測定ができるという。

測定結果は装置のモニターに測定値と設定値以下かどうかを○×で表示する。予定価格は2千万円で5月の発売予定。

検査装置の実証試験に協力するJAみちのく安達の斎藤道雄組合長は「活用に、かなりの準備が必要なため国・県は早く導入を検討してほしい」と要望する。

同JA管内で生産されるコメは約14万3千袋（1袋30キロ）。全袋検査には多くの検査装置や日数、人員が必要となる。また、袋で保管しない米貯蔵施設には別の対応が求められるという。測定では米袋外側に付着した放射性物質の放射線も検知するため、「米袋に放射性物質が付着しない管理が必要」（島津製作所担当者）で、生産者に全袋検査の注意点を理解してもらうためにも早い対応が重要という。

「議員辞職届」を提出。同事務局が代理で受け取り、

に、経営陣は原発を漫然と新設、稼働させたと主張。